



## 2012 年度 未踏 IT 人材発掘・育成事業 採択案件評価書

### 1. 担当PM

プロジェクトマネージャー: 増井 俊之 PM (慶應義塾大学 環境情報学部 教授)

### 2. 採択者氏名

チーフクリエイター: 米辻 泰山  
(東京大学大学院 工学系研究科精密工学専攻・医用精密工学研究室)

### 3. 委託金支払額

1,750,000 円

### 4. テーマ名

Web 親和性の高い創作形態の提案と創作環境の開発

### 5. 関連Webサイト

なし

### 6. テーマ概要

インターネットの発展によって絵、音楽、小説など様々な作品の発表が容易になり、多くの人々が気軽に創作活動への参加ができるようになってきている。しかし、それら作品の制作には未だに多大な労力が必要とされるのが現状である。そこで本提案では、小説やコミックコンテンツを主な対象として、作り手の労力の省力化を図った作品形態である ecoMaki を提案し、その製作環境を開発する。

ecoMaki は以下の特徴によって、コストパフォーマンスの高い作品創作を可能とさせる。

- ・構成要素の分割とリサイクル

キャラクター、舞台、挿絵などをライブラリ化し、積極的に再利用する。

- ・描写コストの削減

挿絵を多用し、セリフを主体とする事で文章による描写のコストを下げる。キャラクターの絵やセリフはリサイクルも容易になる。

- ・構成要素のパッケージ化、共有化

キャラクターや舞台の挿絵や描写、設定をまとめたパッケージを作り手の間で共有することで、分業と製作規模の縮小が可能になる。本提案では ecoMaki の制作のための環境として、以下のものを開発する。

- ・ブラウザ上で動作するエディタ

画像、文章を統合して扱い、ライブラリから呼び出した要素を簡単に追加、編集できるようにするためのエディタ。イラスト、文章の追加、レイアウト、および編集が可能。また、Web 上に設置する事で製作から公開がシームレスに、あるいはリアルタイムに行う事が出来る。

- ・ライブラリ

キャラクターや舞台の挿絵や描写、設定をまとめたパッケージのライブラリ。ユーザが自由にコンポーネントを追加できるライブラリをサーバー上で共有することで、例えばキャラクターだけを作る、キャラクターは全く作らずにストーリーだけ作るという分業が可能になる。

- ・作品発表スペース

作った作品を公開してユーザの交流を可能にするための Web サイト。前述のエディタを組み込む事で読者が編集、改変作業を行う事が容易になる。

また、正しく運用する事で、他者の著作物を再利用しつつその権利を尊重する事ができる。例えば、ある作品が商業化した時、その作品のライブラリの使用履歴を調べれば誰がどの程度その作品に対してコミットしたかわかり、それを元に利益を適切に分配することが期待できる。

## 7. 採択理由

有用なソフトウェアのライブラリやサンプルを Web でみつけることが簡単になってきたため、公開されているモジュールを組み合わせてシステムを作る「コピペプログラミング」が最近多くなってきた。コピペというと一般には良い印象が無いかもしれないが、初心者でも自力で新しいシステムを簡単に構築できるようになったことは喜ばしいことである。

米辻君が提案する「ecoMaki」は、公開されているモジュールを組み合わせることによって誰でも簡単に小説を作れるようにしようという面白いアプローチであり、ネタがあっても文章を書くのが苦手な人や、ネタも無いのに小説を書きたいと思う人が作品を作るハードルを大きく下げることが期待される。現存するコピペ的手法を充分活用し、誰でも簡単に物語を作成できるような環境を構築してもらいたいと考えている。

## 8. 開発目標

絵を描くのが得意でない人でも、アイデアさえあれば Web 上の画像や写真を二次利用することによって漫画のような作品を作ることができるシステムの開発が目標である。

画像を単純に切り貼りするだけでなく、漫画として普通に楽しむことができるようにするための様々な編集システムも同時に開発する。

開発した作品は Web に公開して共有し、他の人がさらに編集を続けることも可能にする。

## 9. 進捗概要

非常に将来性のあるアイデアにもとづいた提案ではあったが、当初は仕様の確定及び開発スピードが遅く、開発期間終了近くなるまで実働システムが稼働していないという問題があった。

4コマ漫画のような会話中心の漫画を作成する場合、登場人物/セリフ/背景を自由に編集できるようにする必要がある。最終的なシステムの目標は高く、たとえばお絵書きシステムをゼロから開発しようとしていたが、今回の目標を実現するためにはお絵書きシステム以外にもバランス良く様々なシステムの開発が必要であり、それらの実装が間に合わなかった。

今回のシステム開発では、ブラウザ上の JavaScript 上で動作する以下のようなシステムが最終成果物になった。

- \* あらかじめ登録された登場人物を利用する
- \* お絵描きシステムを実装する
- \* コマに共通する背景写真を設定する
- \* フキダシを自由に配置する

本来はコマごとに異なる背景を利用したいし、あらかじめ用意されていない登場人物を画像検索して利用するといった機能も欲しかったところであるが、そこまで完成度を高めることができなかった。

## 10. プロジェクト評価

ある程度実用的なシステム「ecomaki」を作成し公開したことは高く評価できる。後述のように、今回のプロジェクトでは「新しく有用で面白いシステムを提案し、確実な技術で実装したこと」をスーパークリエイター判定基準とした。

今回のプロジェクトは確かに新しく有用で面白いシステムの提案であったが、実装結果が不十分のままプロジェクト期間が終了してしまい、世間に公開して話題になるレベルまで持っていくことができなかったのが残念である。

## 11. 今後の課題

提案自体は大変興味深いものであるし、時間があればインパクトのあるサービスとして話題になることは間違いない。開発を継続して、インパクトのあるサービスとして話題になってもらいたいものである。

Web上に存在する素材を使いまわす必要があるため、著作権の問題が発生する可能性が懸念される。一方、Google Street Viewを利用すると世界中のあらゆる場所の背景写真を利用することができるし、「ブラックジャックによろしく」のようにコンテンツのあらゆる二次利用を許す試みもあるため、著作権の問題は今後どんどん小さくなっていくかもしれない。そのようなトレンドを見越して本提案のようなシステムをどのように展開していくか考えていくことが今後の課題となるであろう。